

## 新潟県立十日町高等学校（全日制課程） 化学総合 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
理科	化学総合	普通科・2学年・文系	2
準教科書 副教材等	[主たる教材] [副教材]	「新編化学基礎（数研出版）」 「高等学校 生物基礎（第一学習社）」 「二訂版 スクエア最新図説化学（第一学習社）」 「新課程版 ニューステージ新生物図表（浜島書店）」	

## 1 科目の目標

- (1) 1年次に学習した化学基礎と生物基礎を総合して学習し、生物学的な裏付けのもとに、化学についての理解を深める。
- (2) 実験、観察を通し、化学基礎および生物基礎についての理解を深める。

## 2 科目の内容

化学基礎および生物基礎について、講義、実験・観察を通じ、総合的な知識を学ぶ。また、実験・観察などの考察において、互いに意見を出し合うなど、言語活動を取り入れていく。

## 3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 5月	○物質の構成、構成粒子と生物 1学期中間考査	9	・物質の構成と生物の構成について理解する。
5月 6月 7月	○物質の構成粒子と結合 ○細胞と化学物質 ○遺伝現象と遺伝子 ○遺伝情報の複製と分配 1学期期末考査	13	
7月 9月 10月	○遺伝情報とタンパク質の合成 ○物質と化学反応式 ○代謝 2学期中間考査	18	・化学反応と物質の関係について理解を深め、生命現象としての代謝について学ぶ。
10月 11月 12月	○酸、塩基の反応 ○酸化還元反応 ○体内環境の維持のしくみ 2学期期末考査 ○バイオーームとその分布	18	

1月 2月 3月	○生態系 ○生態系のバランスと保全 学年末考査	12	・生態系のバランスと保全を学び、化学的な知識も裏付けとしながら環境問題への意識を高める。
----------------	-------------------------------	----	----------------------------------------------

計 70 時間 (55 分授業)

#### 4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
評価 の 観点 ・ 規 準	自然の事象・現象に関心をもち、意欲的に探求する科学的態度を身に付けている。	化学現象や生物現象の中に問題を見いだしているか。また、探求の過程で事象を科学的に考察し、的確に表現している。	化学現象や生物現象についての観察・実験の基本操作、過程・結果の記録、整理の技能を習得している。	化学現象や生物現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価 方法	<p>以上の観点をふまえ、</p> <p>①授業プリントや課題等の提出物などの内容 ②単元毎の小テスト ③定期考査</p> <p>などから総合的に評価します。</p>			

#### 5 担当教員

理科教諭